

# 生涯学習を通じての 大学の社会貢献

— 少子高齢化社会における大学のあり方とは —

日時

平成23年

1月6日 木 13:30-17:00

場所

徳島大学大学開放実践センター  
第一講義室

少子高齢化社会が本格的に到来し、わが国の大学は今大きな転換期を迎えています。本シンポジウムでは、大学が今後どのように生涯学習の機会提供を通じて社会に貢献していくのが望ましいのかについて、様々な可能性を探ってみたいと思います。4名の異なった立場の講演者をお招きし、全国レベル・四国レベル・徳島県レベル・受講生レベルでお話を伺うとともに、参加者の皆様と意見交換しながらそれぞれのテーマを掘り下げていく予定です。皆様、奮ってご参加ください。

## 当日のプログラム(予定)

司会進行：田中 俊夫、金西 計英(徳島大学大学開放実践センター教授)

- 13:00~13:30 受付開始
- 13:30 開会の辞 日置 善郎(徳島大学大学開放実践センター長、総合科学部教授)
- 13:30~13:35 香川 征(徳島大学学長)挨拶
- 13:35~13:40 故廣渡修一教授ならびに徳島大学大学開放実践センター活動実績の紹介  
鈴木 尚子(徳島大学大学開放実践センター准教授)
- 13:40~14:20 **山本 珠美氏**(香川大学生涯学習教育研究センター准教授) **講演**  
**「わが国における大学開放の発展と課題 —国立大学生涯学習系センターに期待される社会貢献のあり方をめぐって—」**
- 14:20~14:35 質疑応答(コメンテーター：米田 弘子、高尾 博、坂本世津夫)
- 14:35~14:55 **米田 弘子氏**(徳島大学大学開放実践センター公開講座講師) **講演**  
**「徳島大学大学開放実践センター公開講座の受講を活かした私の社会貢献」**
- 14:55~15:05 質疑応答(コメンテーター：山本 珠美、高尾 博、坂本世津夫)
- (15:05~15:15休憩) -----
- 15:15~15:45 **高尾 博氏**(徳島県教育委員会生涯学習政策課統括社会教育主事) **講演**  
**「本県の生涯学習の振興に向けて徳島大学に期待すること」**
- 15:45~16:00 質疑応答(コメンテーター：山本 珠美、米田 弘子、坂本世津夫)
- 16:00~16:40 **坂本世津夫氏**(高知大学国際・地域連携センター教授) **講演**  
**「四国の経済・社会状況を見据えた大学の社会貢献」**
- 16:40~16:55 質疑応答(コメンテーター：山本 珠美、米田 弘子、高尾 博)
- 16:55~17:00 和田 眞(徳島大学教育担当副学長)挨拶

参加費/無料

事前申し込みは不要です。  
どなたでもご自由にお越しください。

● 本件お問い合わせ先

徳島大学大学開放実践センター TEL. 088-656-7276

\*裏面に各講演者のプロフィールと講演概要を掲載していますのでご覧ください。



講演者

## 山本 珠美 氏

香川大学  
生涯学習教育研究センター  
准教授

**プロフィール** 香川大学で公開講座の企画運営するほか、香大生とともに『香大検定』を制作し、88問のクイズ形式で大学の魅力を発信することにつとめている。また、地元FM局にて、県内外で活躍する「さぬき人」とのトーク番組を担当している。

**講演 演 題 目** 「わが国における大学開放の発展と課題  
—国立大学生涯学習系センターに期待される  
社会貢献のあり方をめぐって—」

**概 要** 大学の「ヒト・モノ・コト」を「地域の共有資源」と考える、それが大学開放の出発点である。歴史を振り返ると、高等教育機関はその設立当初から地域との関係を重視していたが、知識基盤社会と言われる現在、その関係にますます関心が高まっている。OECDレポート「地域社会に貢献する大学」が指摘するとおり、教育・研究・社会貢献それぞれの場面における大学と地域社会との連携こそ、両者がともに発展していくための鍵となるだろう。本講演では、生涯学習に焦点を当て、今後に期待される大学開放のあり方を探っていきたい。



講演者

## 米田 弘子 氏

徳島大学  
大学開放実践センター公開講座  
講 師

**プロフィール** 元徳島県職員。徳島大学大学開放実践センター受講生を経て、同センター公開講座講師ならびにシルバー世代の各クラブの指導、障害者向け講座等ボランティアとして現在に至る。

**講演 演 題 目** 「大学開放実践センター公開講座の  
受講を活かした私の社会貢献」

**概 要** 私は8年前から当センターの受講生として、あらゆるパソコンの講座を積極的に受講し、その過程において、センター教員よりパソコン講座運営のご指導を受ける機会にも恵まれました。現在は、当センターでの学びをもとに、パソコン関連講座の講師として社会活動に活かすとともに、後継者養成にも尽力しております。このような私の経験を通じて見えてきた、公開講座を社会貢献に活かす一つの方法について、受講生の視点から皆様にお話したいと思います。



講演者

## 高尾 博 氏

徳島県教育委員会  
生涯学習政策課統括社会教育  
主 事

**プロフィール** 徳島県公立高等学校教員。平成21年度から県教委生涯学習政策課統括社会教育主事として、徳島県の生涯学習・社会教育の推進に従事し現在に至る。

**講演 演 題 目** 「本県の生涯学習の振興に向けて  
徳島大学に期待すること」

**概 要** 徳島大学は、生涯学習の拠点としての教育研究の成果が蓄積されていますし、幅広い人材を有しています。本県の生涯学習推進にとって、徳島大学との連携・協力は今後、益々重要になってくると考えられます。徳島大学と行政が手を結び、お互いの長を活かしていくことにより、さらに充実した生涯学習の取組を推進できるのではないかと考えております。講演では、廣渡先生との思い出にもふれながら、『本県における生涯学習の振興に向けて徳島大学に期待すること』を中心にお話しさせていただきます。



講演者

## 坂本 世津夫 氏

高知大学  
国際・地域連携センター教授  
生涯学習部門長

**プロフィール** 高知大学で生涯学習部門を運営しながら、日本の情報化を地域という視点で見直し、地域での知的能力とコミュニケーション能力を高めることにより、新たな産業集積や地域の活性化（地域の自立＝まちづくりなど）の可能性について研究・実践している。特に、現在は総務省と連携してICTの活用を促進させると同時に、内閣官房等各省庁と連携して地域再生、地方再生に取り組んでいる。地域産業おこしに燃える人、地域活性化伝道師、地域情報化アドバイザー。

**講演 演 題 目** 「四国の経済・社会状況を見据えた大学の社会貢献」

**概 要** 大学が「地域の大学」である為には、地域の抱えている課題に対して機動的に、かつ効率的に対応できる組織体（部門）を持つ必要がある。従来は、産学官民連携だけで十分であったかもしれないが、地域が抱えている課題が大き複雑になった現在において、産業支援（産学官連携）とは別に、自治体の支援（自治体の政策立案支援）、地域住民の支援（まちづくり、人づくりの支援）など、地域支援の機能をさらに強化することが求められている。